

令和3年度 西東京市立谷戸小学校 学校評価報告書

学校教育目標 人権尊重の精神及び子どもの権利を大切にすることを基盤とし、めまぐるしく変化するこれからの社会に柔軟に対応、人と社会と自然環境等と協調しながら、生涯を通じて豊かに生きていくための資質・能力を育成するため、次の教育目標を設定する。 ◎心の豊かな子(人間関係調整力) ○すすんで学び、行動する子(問題解決力) ○元気で、ねばり強い子(実行力)									
目指す学校像 (ビジョン) 【目指す学校像】 子どもが生き生きと前向きに活動でき、保護者・地域から信頼される学校 【目指す児童】 ◎自他の良さや違いを認め、規範意識をもち、人や社会のために力を発揮する子ども ○自ら考え、豊かな言語活動を通して課題解決をしていく子ども ○夢や目標に向かって、粘り強く取り組む子ども 【目指す教師像】 探究的・問題解決的な学習を実践し、子どもの自己解決力・学ぶ意欲の向上を図ることができる教師 ・ 不断の向上心をもち、前向きに工夫・改善を目指す教師									
前年度までの学校経営上の成果と課題 ・人権教育を充実させ、豊かな人間性の育成を図りながら、基礎・基本の定着とともに、深い学びを実感できる授業を実施した。 ・年間を通じた分掌の見直しを図るとともに、みんなが働きやすい環境づくりのための働き方ルールの作成・取組や不用物の廃棄を進めた。							肯定率(%)		学校関係者 評価 4点満点
	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	現状と課題	課題に対する次年度以降の対策	児童	保護者	教員	
学力向上	子どもにやる気をもたせ、分かる授業・よりよい授業の充実を目指し、子どもに成就感を味わわせ、学力の向上を図る。	校内研修の充実を図るとともに、全教員が積極的に研究授業を行い、互いに切磋琢磨して授業力の向上を図る。	「学習ルールの基礎・基本」の共通実践を通して充実を図る。 教科等横断的な視点に立ち、思考力・判断力・表現力の育成を図る。	1 学習指導に関するOJTを実施する必要がある。 2 自主的な授業公開に取り組む機会が少ない。 3 学習スタンダードが学年の実態にあっていない点もある。	1 現行のOJT計画の中に、学習指導に関するOJTを位置付け、年に2回程度実施する。 2 管理職の授業観察期間を活用し、授業内容を周知する機会を設定する(指導案の配布、授業後のミニ協議会等)。 3 骨組みのみ統一し、詳細については学年裁量で行う。	95.5	84.8	95.2	3.7
		プログラミング的思考、主体的・対話的で深い学びの充実を目指し、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育(ESD)を通して、問題解決力の向上を図る。	各教科、総合的な学習の時間、生活科を中心として主体的・対話的で深い学びを実現する。	1 多くの教員が、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善に取り組んでいる。 2 ICTの推進については、さらなる推進が必要である。	1 今後も継続する。 2 ICTと研究を絡める。	96.8	90.2	100.0	3.9
健全育成	児童の生涯を支える健康で丈夫な心身を育てる。	健康教育(体育、食育、保健、安全教育)の推進及び充実を図る。	毎日の給食、給食の通信、食育クイズ等を通して食への興味関心をもたせる。	1 給食委員のクイズが良かった。校長先生の食育についてのお話は、児童が興味をもって聴いている。 2 給食委員の給食放送、「ばくばく通信」を活用した食育は有効。残食については学級によって差が大きい。次年度は、給食委員会など、児童が食育に関する取り組みを考え、実行できるのではないか。5・6年生発信の取り組みは、やる気につながる。	1 児童の関心が高まるので今後もクイズを多く取り入れる。 2 引き続き、「ばくばく通信」や給食委員のクイズ、授業等で食育的な取り組みを実践していく。	80.9	88.2	95.2	3.7
			コーディネーショントレーニングに取り組む。	1 指導方法、ワークシートの書き方、用具の場所を徹底していなかった。また、ラディアンの動き方が分からずに指導に困る場面があった。 2 初年度としてはよい方向で実践できた(せせらぎでも年間を通して取り組むことができた)。	1 年度初めにOJT(研修&DVD視聴)を位置づける。一年の中で行う頻度を定める(年間2回程度) 2 年度当初から計画を立てて進めていく。	77.7	80.9	95.2	3.3
健全育成(いじめ防止)	学年・学級経営の一層の充実を図る。	いじめをしない、させない集団づくりを行うとともに、差別や偏見をもたせない学年・学級経営を行う。	多面的・多角的に考える指導方法の工夫をし、特別の教科道徳の充実を図る。	1 各学級で、道徳の授業を核としながらも、児童の実態やその時の状況に合わせて必要な指導を適宜行った。 2 生活指導の一環として、ふれあい月間を設定し、挨拶や言葉遣い、友達との関わり等について考える時間を設定した。今年度は特に子どもたちの自発的な活動を目指し、あいさつ運動の方法を工夫した。	1 道徳の授業については、引き続き児童の実態や状況に合わせて指導を充実させていく。 2 ふれあい月間の設定については今年度の取り組みを継続していく。次年度はさらに、自発的な活動を広めていく。	96.8	61.4 (89.4) <small>(カッコ内は「わからない」を除いた肯定率)</small>	85.7	3.1
		心の教育の推進及び充実に努める。	児童虐待防止に向け、校内特別委員会を通し、全教職員で情報を共有し、課題に対して組織的即時的対応を行う。	1 校内委員会については定期的に行っているが、ここで話したことが、全体で十分に共有されていないと思われる部分もある。他の学年の実態を把握しにくい。 2 生活指導夕会を活用した情報共有に加え、必要に応じて校内委員会を開き、組織的かつ即時的対応を行った。	1 全体で共有する場や時間を必要に応じて確保する(低・中・高学年それぞれで情報共有すれば時間短縮になるが、重要な点については、教職員全員でしっかりと共有したい)。 2 次年度は、児童の現状やそれに対する校内の取り組みについて、より積極的に家庭に伝えていくことが必要。そして、家庭との協力を図りながら協力できる土壌づくりをしていく。	92.4	92.2	95.2	3.7
あったか先生	人権を大切に、教育公務員としての危機管理能力や「全体の奉仕者」としての意識を高める。	多様な考え方を認め合う場面を設定する。	場面に応じリフレーミングを行い、レジリエンス(困難や脅威に直面している状況に対して、うまく適応できる能力)を育成する。	1 各クラスの取組を知る機会がほしい。	1 生活指導夕会などで情報交換をし、各学年ごとに取組を共有できるようにする。	96.8	88.2	100.0	3.8
		服務事故の未然防止を図る。	服務事故防止月間はもとより、毎月26日を「服務の日」に設定し服務の厳正について研修を充実させ、服務事故ゼロの意識を周知・徹底する。	1 あったか先生についての毎月のチェックと担当による話は、とても有効だった。 2 月に1度、チェックシートで意識調査をした。服務事故の情報はメールで教職員に共有されている。	1 あったか先生の取組に関する情報共有や研修は今後も実施していく。 2 今後も引き続き月に1度、チェックシートで意識調査をする。	該当項目なし	該当項目なし	100.0	3.9
個に 応じた 支援 した 教育	一人一人を大切に、特別支援教育を推進する。	拠点校として児童理解に基づく支援を充実する。	児童の困り感を家庭と共有し、校内委員会等を軸に、特別支援教室、巡回アドバイザー、SC等と連携を取りながら、児童一人一人を大切に教育支援を推進する。	1 ・教育支援委員会で事前に話し合い、巡回アドバイザー訪問の日に計画的に支援の必要な児童を観察してもらうことで、有効な支援ができた。 2 教育支援委員会と対策委員会の位置付けが分かりにくいことがある。 3 校内委員会等、教育支援に必要な話し合いは定期的に行っているが、話し合いの内容が、全体で共有されていない。他の学年の実態を把握しにくい。	1 今年度同様に、事前に支援委員会等で支援の必要な児童について情報を集め、巡回アドバイザーに計画的に観察、フィードバックしてもらいながら必要な児童に必要な時に支援を行えるようにする。 2 対策委員会では、いじめ・不登校・虐待の案件を継続して重点的に話し合えるようなシステム(記録用紙を含め)を構築し、効率化を図る。また、教職員に向けて研修等を行い、資質の向上を図る。 3 生活指導夕会でポイントを絞って報告し、全体で共有する場や時間を確保する。	該当項目なし	78.5	90.5	3.4
業務改善	「チーム谷戸」として協力・協働して取り組む教職員を目指し、業務改善を図る	組織的な業務改善に努め、働く意欲増進を図る。	年間を通じた分掌の見直しを図るとともに、みんなが働きやすい環境づくりのための働き方ルールの作成・取組や不用物の廃棄を進める。	1 備品チェックを担当だけするのは、大変なときがあった。 2 教科書や補教など、学年で割り振られている仕事は、毎年メンバーが変わるので引き継ぎと業務が大変である(例…教科書、あゆみ、教材届、出席簿、転入学籍、チャイム、時間割、補教、児童名簿、学力調査、授業改善P、学校だより、指導要録、児童机いす、公開準備受付)。 3 特色ある教育活動の担当が一致していない。	1 備品チェックの日を設ける。 2 経験ある人とそうでない人で組むなど2人以上のグループにして、引き継ぎや業務をスムーズに進める。 3 年度初めに、総合担当とオリパラ担当を中心に学年主任と調整する。	該当項目なし	該当項目なし	52.4	2.9